

2019年
(令和元年)

7月2日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日
(毎週火曜日発行)

今号の特集

- ▷ 外食産業特集 ④～⑦面
- ▷ クロスMD特集 ⑧～⑩面

中部飲食料新聞社ホームページ
<http://chuin.net/> 【業界情報発信中】



第3335号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5-18-9
電話 (052)571-7116 代表
FAX (052)571-7118
東京支局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話 (03)5614-7531
FAX (03)5614-7532

中部 大正から 食を伝えて100有余年 飲食料新聞

中部食料品問屋連盟

第70期定時総会開催

六代会長に永津嘉人氏

中部食料品問屋連盟は6月25日、第70期定時総会を名古屋観光ホテルで開催。70回の節目であり、正会員・賛助会員合わせて299名が出席し盛大に行われた。

総会開催にあたり永津邦彦会長が挨拶を述べた後、議長に推されて各議案を審議し原案通り承認、北村篤司会計監事が監査報告を述べた。第五号議案の役員改選の件



副会長の開会挨拶で始まり、味の素・久我章良名古屋支社長が「連盟は70年の長きに亘り中部の食の発展に大きな貢献があり、正会員の皆様には」

は常にご賛助会員の商品に大事に扱っていただき心から感謝していただきます。食品業界はロボット

永津邦彦会長
最適対応を継続
中部食料品問屋連盟の前身の愛知食料品問屋連盟は戦後間もない昭和24年に発足し、中部の食品

青山和隆副会長
連盟一体で歴史を作る
連盟は70周年を迎えることができたが、その陰に発足から事務局を務め続けた中部飲食料新聞社の姿がある。復利当時の社長の山田兼教氏は中部の食品業界を日本に示す



北村裕司氏が社長に就任
北村物産の代表取締役
北村裕司社長は1963年伊勢市生まれ。法政大学経済学部を卒業し西野商事を経て91年に北村物産入社。92年に専務取締役、01年に代表取締役専務に就任。三重県ひじき組合専務理事、日本わかめ協会常任理事、品質指導委員長なども務める。

北村裕司社長は1963年伊勢市生まれ。法政大学経済学部を卒業し西野商事を経て91年に北村物産入社。92年に専務取締役、01年に代表取締役専務に就任。三重県ひじき組合専務理事、日本わかめ協会常任理事、品質指導委員長なども務める。

「景況感悪化」といつても、まだ実感できない。不況の到来は失業者の増加が最も身近に感じるもの。企業の人手不足は今のところ解消の兆しは無いので、景況判断が時に差しかかっても働く人は好況の感じである。6月末に最後の備えには20万円とか、30万円が必要とかいった議論があったが、これは会期末を迎えた政治が主導した感じのようだ。今の市民の関心はボーナス支給額と夏休みの楽しみ計画が中心のようである。それでも景況は既に下降への緩やかな「曲がり角」ということは事実だ。7月には参議院議員の選挙(4日に公示、21日に投票)がある。さて、その後の景況情報は如何に——。(大橋隆士)

街角経済 景況判断と実感

内閣府は4月の景気判断を「悪化」に据え置き、発表(6月24日)している。しかし、働く人々には夏のボーナスの支給期とあって不況感に乏しい。春の景気感とは距離がある。「景況感悪化」といつても、まだ実感できない。不況の到来は失業者の増加が最も身近に感じるもの。企業の人手不足は今のところ解消の兆しは無いので、景況判断が時に差しかかっても働く人は好況の感じである。6月末に最後の備えには20万円とか、30万円が必要とかいった議論があったが、これは会期末を迎えた政治が主導した感じのようだ。今の市民の関心はボーナス支給額と夏休みの楽しみ計画が中心のようである。それでも景況は既に下降への緩やかな「曲がり角」ということは事実だ。7月には参議院議員の選挙(4日に公示、21日に投票)がある。さて、その後の景況情報は如何に——。(大橋隆士)

自然のおいしさ!! コシマジャム

小島食品製造株式会社
本社 東海市名和町一番割中25
電話 (052)603-3511

素材の味をいかします

「オレインリッチ(プライムテスト300)」は、オレイン酸80%含有の健康応援オイル。油特有のイヤな匂いが気にならず、鮮度と風味が長持ち。

「昭和天ぷら職人」は、揚げたてのサクサク感が長持ち。揚げ油に左右されない自然な黄色と衣付き。電子レンジで温め直してもカラツとしています。

昭和産業株式会社
名古屋支店 油脂食材課
〒451-0042
名古屋市中区西区南1丁目36番6号
TEL052(571)6213 FAX052(561)4755

中食連「発足70周年記念式典」 功労役員各社を表彰

中部食料品問屋連盟は発足70周年を迎えたことを記念し、「発足70周年記念式典」を第70期定時総会に続いて開催した。式典は六代会長に就任した永津嘉人会長の挨拶

盟の発足以来、中部の食品業界の発展を牽引し、当社だけでなく多くの企業が助力を受けたことに感謝いたします。令和の時代となり、食料品の総需要は縮小傾向となり、量を売って稼ぐ時代は終わりを迎える。業界団体の役割は原点に戻ると考え、非競争領域で業界全体のムラ・ムダ・ムラをなくしていく必要があると声をあげていきたい」と祝辞を述べ、業界団体を代表し日本加工食品卸協会・奥山則康専務理事が「連盟が70周年を迎えら

れたことにお祝い申し上げます。食品業界は様々な課題に直面しているが、節目を転機として新たな時代に通用する進化を遂げ、未来につながる中間流通機能を確立していくことが必要と考えます。一企業では対処できない課題を解決するには業界団体の役割が重要となる」と祝辞を述べた。

功労役員表彰では会長として初代会長・山田兼教(現三菱食品)、田商事(現三菱食品)、二代・四代会長・梅澤(現三井食品)、三代会長・メイカン(現伊藤忠食品)、五代会長・トイカン、副会長として北村商店、昭和、名給、事業運営委員長として西山商事、事務局として中部飲食料新聞社を表彰。永津邦彦相談役が「会員の皆様の前で表彰を頂けて光栄に思います。業界を取り巻く環境は厳しいものがあるが、歴代の会長が作り上げてきた連盟の運営が我々の現在の姿となる。引き続き身を引き締めて会員一丸となつて業界を盛り上げていきたい」とお礼を述べた。

永津嘉人会長 六代会長

で始まり、賛助会員を代表してカゴメ・寺田直行社長が「連盟発足70周年おめでとうございます。前身の愛知食料品問屋連

盟の発足以来、中部の食品業界の発展を牽引し、当社だけでなく多くの企業が助力を受けたことに感謝いたします。令和の時代となり、食料品の総需要は縮小傾向となり、量を売って稼ぐ時代は終わりを迎える。業界団体の役割は原点に戻ると考え、非競争領域で業界全体のムラ・ムダ・ムラをなくしていく必要があると声をあげていきたい」と祝辞を述べ、業界団体を代表し日本加工食品卸協会・奥山則康専務理事が「連盟が70周年を迎えら

れたことにお祝い申し上げます。食品業界は様々な課題に直面しているが、節目を転機として新たな時代に通用する進化を遂げ、未来につながる中間流通機能を確立していくことが必要と考えます。一企業では対処できない課題を解決するには業界団体の役割が重要となる」と祝辞を述べた。

功労役員表彰では会長として初代会長・山田兼教(現三菱食品)、田商事(現三菱食品)、二代・四代会長・梅澤(現三井食品)、三代会長・メイカン(現伊藤忠食品)、五代会長・トイカン、副会長として北村商店、昭和、名給、事業運営委員長として西山商事、事務局として中部飲食料新聞社を表彰。永津邦彦相談役が「会員の皆様の前で表彰を頂けて光栄に思います。業界を取り巻く環境は厳しいものがあるが、歴代の会長が作り上げてきた連盟の運営が我々の現在の姿となる。引き続き身を引き締めて会員一丸となつて業界を盛り上げていきたい」とお礼を述べた。

永津嘉人会長 六代会長

SHOWA 業務用

オレインリッチ (オレイン酸80%)
昭和天ぷら職人 (揚げ油)

昭和産業株式会社
名古屋支店 油脂食材課
〒451-0042
名古屋市中区西区南1丁目36番6号
TEL052(571)6213 FAX052(561)4755